

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔23〕 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	あさくさ・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,816,804,521円,歳出2,832,987,406円,収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中2-17-20					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~2日を除く)8時30分~17時15分					
(5)規模	延べ床面積 2,794.36㎡の内380.28㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部					
(6)人員体制	12名 内訳...事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤3、非常勤6)、看護職員(非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、介護予防通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員35名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	10,302,000	5,650,000	5,650,000	7,357,000	8,031,000
	利用料金収入	82,577,000	81,534,000	82,877,000	87,520,000	77,678,000
	その他収入	3,378,000	870,000	1,440,000	1,590,000	610,287
	管理経費	96,257,000	88,054,000	89,967,000	96,467,000	96,188,000
決算	委託料	10,302,000	5,650,000	5,650,000	7,357,000	8,031,000
	利用料金収入	87,885,401	96,109,270	81,302,032	78,741,512	61,014,512
	その他収入	2,953,266	3,927,054	1,792,000	1,733,650	1,728,000
	管理経費	87,849,757	82,936,736	95,280,532	87,638,559	85,399,901
	収支	13,290,910	22,749,588	-6,536,500	193,603	-14,626,389
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
開館日数		日	310	311	311	312
定員		人	35	35	35	35
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度
利用率		%	65	97.2	84.4	67.0
利用者数		人	7,100	10,577	9,187	7,319

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み				
大規模改修工事に伴い、平成28年度は一年間デイの運営を休止するため、ご利用者やご家族に協力を頂きながら、施設側からも他サービスの情報を積極的に提供する等、次のサービスへスムーズに移行できるよう適切に対応を行った。現在は、開設準備室を中心に再開に向けた準備作業を進めている。				
8. 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価		S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。		
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	利用者やご家族の意向・在宅の状況を考慮し、サービス提供時間を幅広く選択出来るよう工夫する等、個々のニーズに対応できるよう、サービス向上に努めた。また、運営休止に伴い、利用者が次のサービスへスムーズに移行できるよう適切に対応を行った。		
(2)施設の維持管理	A	業者委託している清掃業務や警備業務等について、日々業務日誌を確認したり、適宜連絡会議を開催するなど適切に施設管理をしている。		
(3)利用者の満足度	A	改修工事に伴う利用者移転の影響で利用率は減少したが、28年度の休止に向け利用者がスムーズに次のサービスに移行できた結果である。満足度調査の希望により、個別活動を充実したことで、利用者から満足頂き、結果も概ね好評であった。		
(4)収入支出	A	改修工事に伴い、利用率及び利用料金収入は減少したものの、予算執行は適切に行われており、管理経費の効率化にも努めている。		
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	利用者の状態に合わせ、入浴方法を柔軟に対応できる工夫をしたり、ボランティアを講師として趣味の活動を行う等、積極的にサービス向上に努めている。改修工事に伴うデイ休止に関しても、利用者からの不安の訴えや相談に対し適切に対応した。	
11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応				
改修工事の影響により、平成28年度は一年間休止しているため、平成29年度の利用率は減少が見込まれるが、また多くの方に利用していただけるよう、周知に努め、スムーズな運営再開に向け、引き続き準備を進めていく。今後も、多様化するニーズに対応したサービス提供ができるよう工夫をしながら、サービスの向上につなげていく。				